

## 老年看護学

### 【老年看護学の考え方】

成長発達の最終段階である老年期は、人としての英知を統合し、いずれは穏やかな幸せな死を迎える段階である。長い人生経験で培った知恵と価値観を尊重して個人の生き方・個別的な存在としての高齢者を理解する必要がある。

加齢現象は身体機能の低下を引き起こし、高齢者の生活や社会・心理的側面に大きな影響を及ぼす。また、高齢者の健康障害は、複数の疾患を抱えていることに伴いより個別的で複雑である。そのうえ、恒常性維持機能の低下によって、合併症・急性増悪・慢性化・廃用症候群など様々な問題が発現しやすく健康問題が複雑化・長期化しやすい。したがって看護においては高齢者に起こりやすい変化を予測し、きめ細やかなアセスメント力、活動耐性の評価、機能低下予防、個別の生活援助に関する知識・技術が必要とされる。

老年看護学は、変化する社会の中で問題となっている虐待などから高齢者の人権を守り、高齢者と家族の置かれている状況を的確に判断し、健康の維持向上について、また加齢や疾患によって、機能低下をした高齢者の生活行動を支える援助を学ぶ。

### 〔 目的 〕

老年期にある人々と家族を理解し、対象に必要な看護を展開できる能力を養う。

### 〔 目標 〕

1. 加齢に伴う高齢者の生活と健康状態の変化について理解できる。
2. 様々な健康状態にある高齢者と家族の生活および健康を支える看護について理解できる。
3. 多様な生活の場で高齢者の健康を支える看護について理解できる。
4. 高齢者の特徴を踏まえて看護過程の展開方法が理解できる。

### 【構成および計画】

授業科目	単位数	時間数	学年別計画時間			
			1年	2年	3年	
老年看護学概論	1	30	1 (30)			
高齢者の日常生活援助技術	1	30		1 (30)		
健康障害をもつ高齢者の看護	1	30		1 (30)		
高齢者の事例演習	1	15		1 (15)		
合計	4	105	1 (30)	3 (75)		

科目名	老年看護学概論	講師	奥山 智絵 霧生 緑	単位数	1
				時間数	30
<p>科目目的：加齢に伴う高齢者の生活と健康状態の変化について理解し、老年看護の基礎的知識を学ぶ。</p> <p>科目目標：1. 高齢者の加齢に伴う変化を理解できる。 2. 高齢者を取り巻く社会と老年看護の基本が理解できる。 3. 老年看護の対象を理解できる。 4. 高齢者の保健医療福祉制度を理解できる。</p>					
講義回数	学 習 内 容				
1～2回	1. 高齢者の理解	1) 老いとは 2) ライフサイクルからみた高齢者			
3～5回	2. 加齢変化の特徴 ヘルスアセスメント	(1) 高齢者の健康と疾病 (2) 加齢にともなう身体機能の変化 (3) 加齢にともなう認知機能の変化 (4) 加齢に伴う心理・社会的変化			
6回	3. 高齢社会と社会保障	1) わが国の人口高齢化の特徴とその影響 (1) 高齢社会の急速な歩み (2) 老年保健・医療・福祉の動向 2) 有訴者率と受療率			
7～10回	4. 高齢者の生活に関する保健医療福祉制度	1) 医療保険制度 2) 介護保険制度 3) 高齢者の人権に関する制度 4) 高齢者の生活の場 (1) 医療施設 (2) 介護保険施設 (3) 地域密着サービス・居宅サービス (4) 高齢社会の急速な歩み			
11～12回	5. 老年看護の基盤	1) 老年看護の変遷 2) 老年看護の目的・目標 3) 老年看護の特徴 4) 老年看護における理論			
13～14回	6. 高齢者の権利擁護	1) 高齢者に対するスティグマと差別 2) 虐待・身体拘束 3) 権利擁護のための制度			
評価方法	筆記試験 課題レポート				
テキスト	系統看護学講座 専門分野 老年看護学 (医学書院)				
備考	高齢者擬似体験演習				

科目名	高齢者の日常生活援助技術	講師	奥山 智絵 霧生 緑 荒尾 雅文 他	単位数	1
				時間数	30
<p>科目目的：老年看護活動の特性を理解し、基本的な日常生活援助技術を学ぶ。  科目目標：1. 老年看護活動の特性が理解できる。  2. 高齢者の基本的な日常生活援助を理解できる。</p>					
講義回数	学 習 内 容				
1回	1. 高齢者の生活機能と包括的アセスメント	1)高齢者の生活機能評価 (1)総合機能評価CGA (2)ADL評価 ①BI ②KI ③FIM (3)認知機能の評価			
2回 3回	2. 高齢者の生活機能を整える看護	1)コミュニケーション 2)安全を守る援助 (1)転倒・転落の予防 (2)転倒の影響			
4～5回		3)活動と移動の援助 残存機能を生かした移動動作の <u>演習</u> (1)活動、動作のしくみ (2)移動 (3)ポジショニング・シーティング			
6～7回		4)食事・食生活の援助 (1)咀嚼・嚥下の援助 (2)誤嚥・窒息予防 (3)高齢者の栄養・			
8～9回		(4)食事介助方法・口腔ケア(入れ歯の手入れ) <u>演習</u> 5)排泄を整える援助 (1)尿失禁 (2)便秘・便失禁 (3)おむつ交換 <u>演習</u>			
10回		6)身だしなみを整える援助 (1)清潔・入浴・スキンケア (2)フットケア (3)褥瘡予防・スキンケア (4)髭剃り・化粧			
11～12回	3. 高齢者のリハビリテーション	7)休息・睡眠、生活リズムを整える 8)高齢者のリハビリテーション <u>演習</u> (1)廃用症候群 (2)生活リハビリテーション			
13～14回	4. 高齢者の社会参加	1)生きがい活動 地域貢献 2)アクティビティケア <u>演習</u>			
評価方法	筆記試験				
テキスト	系統看護学講座 専門分野 老年看護学(医学書院) 系統看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾病論(医学書院) 系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護(医学書院)				
備考					

科目名		奥山 智絵	単位数	1
健康障害をもつ高齢者の看護	講 師	霧生 緑 他	時間数	30
<p>科目目的 : 生活機能障害のある高齢者の特徴と看護の方法を学ぶ。</p> <p>科目目標 : 1. 生活機能障害のある高齢者を理解できる。 2. 生活機能障害のある高齢者の看護が理解できる。</p>				
講義回数	学 習 内 容			
1～2回	1. 高齢者に特有な症候・疾患・障害と看護	1) 症候とアセスメント (1) 廃用症候群 (2) 脱水症 (3) 低栄養 (4) 浮腫		
3～4回	2. 治療を受ける高齢者の看護	1) 入院治療を受ける高齢者の看護 2) 検査を受ける高齢者の看護 3) 薬物療法を受ける高齢者の看護 4) 手術療法を受ける高齢者の看護		
5回	3. 高齢者の主な疾患と看護	(1) 排泄機能障害(前立腺肥大症)のある高齢者の看護 障害の理解(要因・症状・治療) 排泄機能障害のある高齢者への援助		
6回		(2) 運動機能障害(大腿骨頸部骨折)のある高齢者の看護 障害の理解(要因・症状・治療) 運動機能障害のある高齢者への援助		
7回		(3) 感覚機能障害(白内障)のある高齢者の看護 障害の理解(要因・症状・治療) 感覚機能障害のある高齢者への援助		
8回		(4) 脳血管障害(脳梗塞)のある高齢者の看護 障害の理解(要因・症状・治療) 脳血管障害のある高齢者への援助		
9～11回		(5) 認知障害のある高齢者の看護 認知障害の理解(要因・症状・治療) 認知障害のある高齢者への援助		
12回	4. エンドオブライフケア	1) エンドオブライフケアの概念 2) 意思決定への支援 3) 終末期に求められる援助		
13～14回	5. 多様な場で生活する高齢者の看護	1) 高齢者とヘルスプロモーション 2) 保健医療福祉施設における看護 3) リハビリテーション病棟における看護 4) 家族の看護		
評価方法	筆記試験			
テキスト	系統看護学講座 専門分野 老年看護学(医学書院) 系統看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾病論(医学書院) 系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護(医学書院)			
備考				

科目名	高齢者の事例演習	講師	奥山 智絵	単位数	1
				時間数	15
<p>科目目的 :健康障害および加齢による生活機能障害をもつ高齢者の看護を学ぶ。</p> <p>科目目標 :高齢者の特徴を踏まえ、生活機能障害を持つ高齢者の看護過程の展開ができる。</p>					
講義回数	学 習 内 容				
1回	1. 高齢者の看護過程の特徴	1)看護過程の考え方 2)高齢者の発達課題 3)目標志向型思考			
2～3回	2. 高齢者の加齢変化の特徴を踏まえて、情報の整理、分析・解釈	1)看護過程の事例展開 2)分析・解釈 (1)11の機能的健康パターンを用いた情報収集・分析・解釈 (2)考えられる問題の抽出 (3)考えられる問題の統合 (4)関連図			
4～6回		3)看護計画立案 (1)看護目標 (2)援助計画 (加齢や生活習慣、QOLを考慮した目標設定と計画立案) 日常生活の自立促進 活動不耐の考慮 合併症予防 生活リズム 生きる意欲 介護家族の支援			
7回		4)評価の視点と方法			
評価方法	筆記試験				
テキスト	系統看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾病論(医学書院) 系統看護学講座 専門分野 老年看護学(医学書院) 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[2]基礎看護技術(医学書院) ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断(ヌーベルヒロカワ) ゴードン 看護診断マニュアル(医学書院)				
備考					